

戦評用紙

令和元年度関東高校バスケットボール大会 埼玉県予選

令和元年5月18日(土)

会場	越谷市総合体育館	Eコート第3試合(女子決勝)	
対戦	埼玉栄高校	29-11	県立草加南高校
	86	21-7	42
		17-6	
		19-18	

1Q: 新人関東大会準優勝校埼玉栄高校と初の決勝進出を果たして勢いに乗る草加南高校との対戦。
埼玉栄 #0,2,3,7,12、草加南 #4,6,7,8,210 でスタート。埼玉栄はマンツーマンディフェンス、草加南は2-1-2ゾーンプレスから2-1-2ゾーンディフェンスを仕掛ける。埼玉栄は落ち着いてボールを運び、長身の#12を生かして得点を重ねる。草加南はよく動きながら、1対1を仕掛けてディフェンスを崩そうとするが、リバウンドを埼玉栄に制される。#12が14得点の活躍をし、29対11と埼玉栄リードで1Qを終える。

2Q: 埼玉栄 #0,1,2,3,5、草加南 #4,6,7,10,14 でスタート。草加南は2-1-2ゾーンプレスでより激しくボールにプレッシャーをかけ、ミスをおうと頑張るがゴール下を埼玉栄#2に粘られ得点を詰めることができない。途中、草加南は#5,8,9,11,12の5人が交代しオールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。しかし、埼玉栄は相手のミスから速攻を決め、さらに#8の4連続3ポイントも決まり、50対18と大差をつけて前半戦を終える。

3Q：埼玉栄 # 8,9,11,7,12、草加南 # 4,6,7,8,10 でスタート。草加南はシュートチャンスをなかなか作れず、無理なシューが目立つ。埼玉栄は2年生チームであるが、リバウンドを確実にものにして、速攻で得点を伸ばす。やや、お互いにシュートが決まらない時間があったが67対24と埼玉栄がさらに突き放す展開となる。

4Q：埼玉栄 # 4,6,10,13,14、草加南 # 9,11,13,16,18 でスタート。埼玉栄はオールコートマンツーマンに出て、プレッシャーをかける。草加南はこの勢いに負けずに果敢に攻め込み、カットインからファールを誘発する。埼玉栄はスクリーンプレーから1対1、このプレーに足を止めずに、うまく合わせて得点する。残り3分埼玉栄のミスから速攻を出し草加南も精一杯プレーをする。このクォーターは互角に終わり、最終スコア86対42で埼玉栄が優勝を飾った。

(山村学園高校 土岐敏郎)